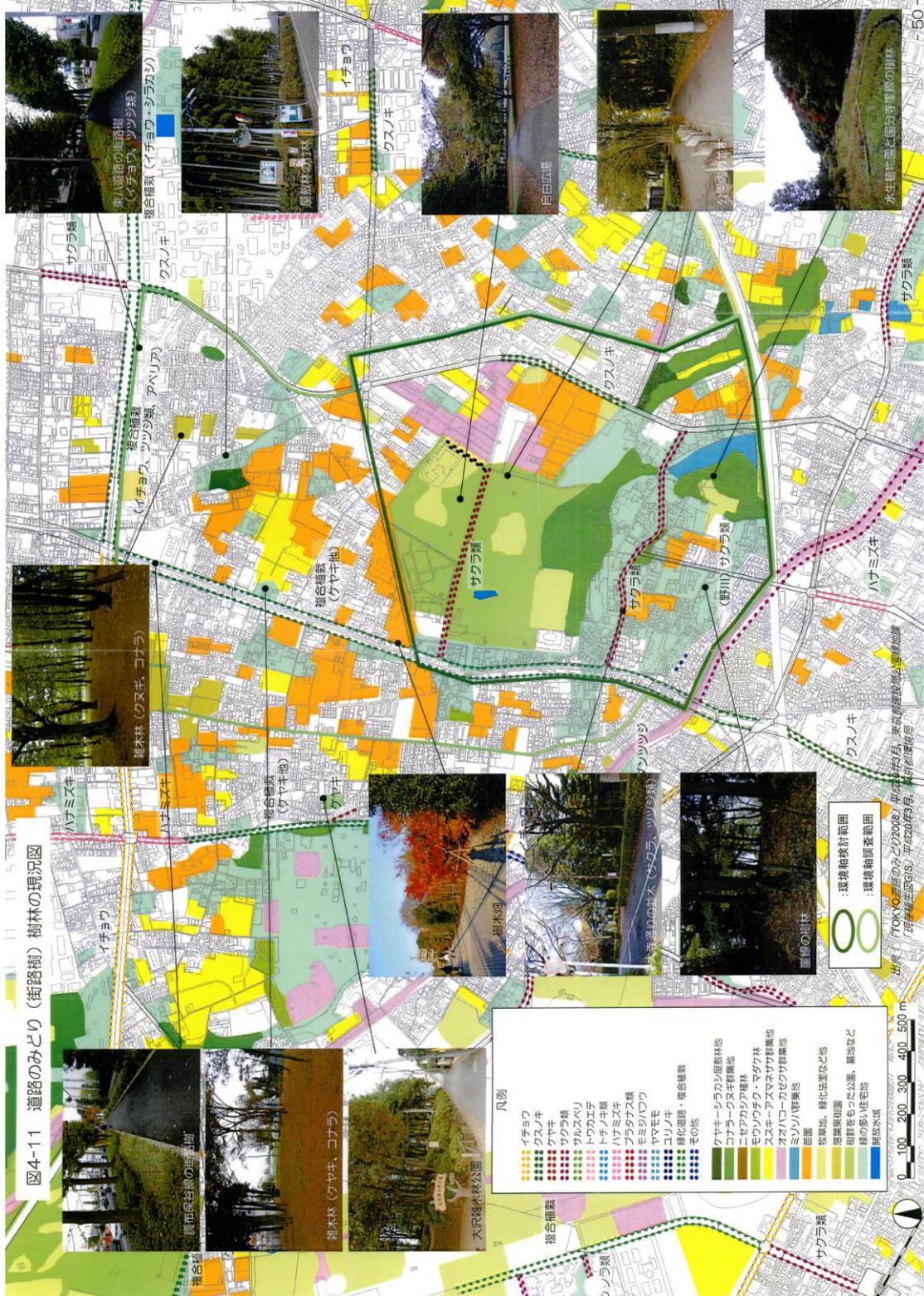


(ウ) 街路樹現況

深大寺地区周辺の街路樹現況は以下のとおりとなっています。

- ・ 深大寺通りは、サクラ、ツツジ類の街路樹となっています。
- ・ 武蔵境通り及び三鷹通りは、クスノキを主体とした街路樹となっています。



深大寺周辺の街路樹現況  
 (出典：環境軸形成調査委託(その2)報告書(平成21年3月, 東京都))

## エ 遺跡・指定文化財

### (ア) 遺跡

深大寺地区周辺では、多くの遺跡が確認されています。特に都立神代植物公園一帯にかかる「堂山遺跡」及び都立農業高校神代農場から調布市野草園にかかる「上野原遺跡」は、旧石器時代の遺物を含むものです。

「池ノ上遺跡」と「上野原遺跡」は、都立農業高校神代農場の谷戸を囲む国分寺崖線の台地上に分布し、この一帯が大きな池だったという伝説や青渭神社との関係を想像させるものとなっています。

また、中世の「深大寺城跡」は、国の史跡に指定されており、逆川が流れる都立水生植物園に面する舌状台地をそのまま利用したもので、台地の上の広場周辺には、かつての空堀跡が残されています。

#### 【深大寺城跡（国指定史跡）】

深大寺城跡は、関東平野南部に広がる武蔵野台地の南縁辺部の標高約50mを測る舌状台地の一角に所在する、三つの郭からなる戦国時代の城跡です。台地の東側には開析谷によって形成された90m幅に及ぶ湿地帯が広がり、西側にも湧水を集めた支谷があり、南側は比高約15mを測る国分寺崖線によって画され、南方に多摩川とその対岸を望見することができます。また、城跡の北側の谷を挟んで古刹・深大寺が所在しています。

深大寺城跡は、16世紀前半、南関東を舞台に繰り広げられた小田原北条氏・扇谷上杉氏攻防のなか扇谷上杉氏が築造した城跡であり、小田原北条氏による改変を受けず扇谷上杉氏系の築城技術を残す16世紀前半期までの希少な城館と考えられています。関東における戦国大名及び城郭の変遷を知る上で貴重なものであることから、東西約230m、南北約250mの範囲を史跡に指定して保護を図っています。

(出典：文化庁ホームページ（国指定文化財データベース）より抜粋)



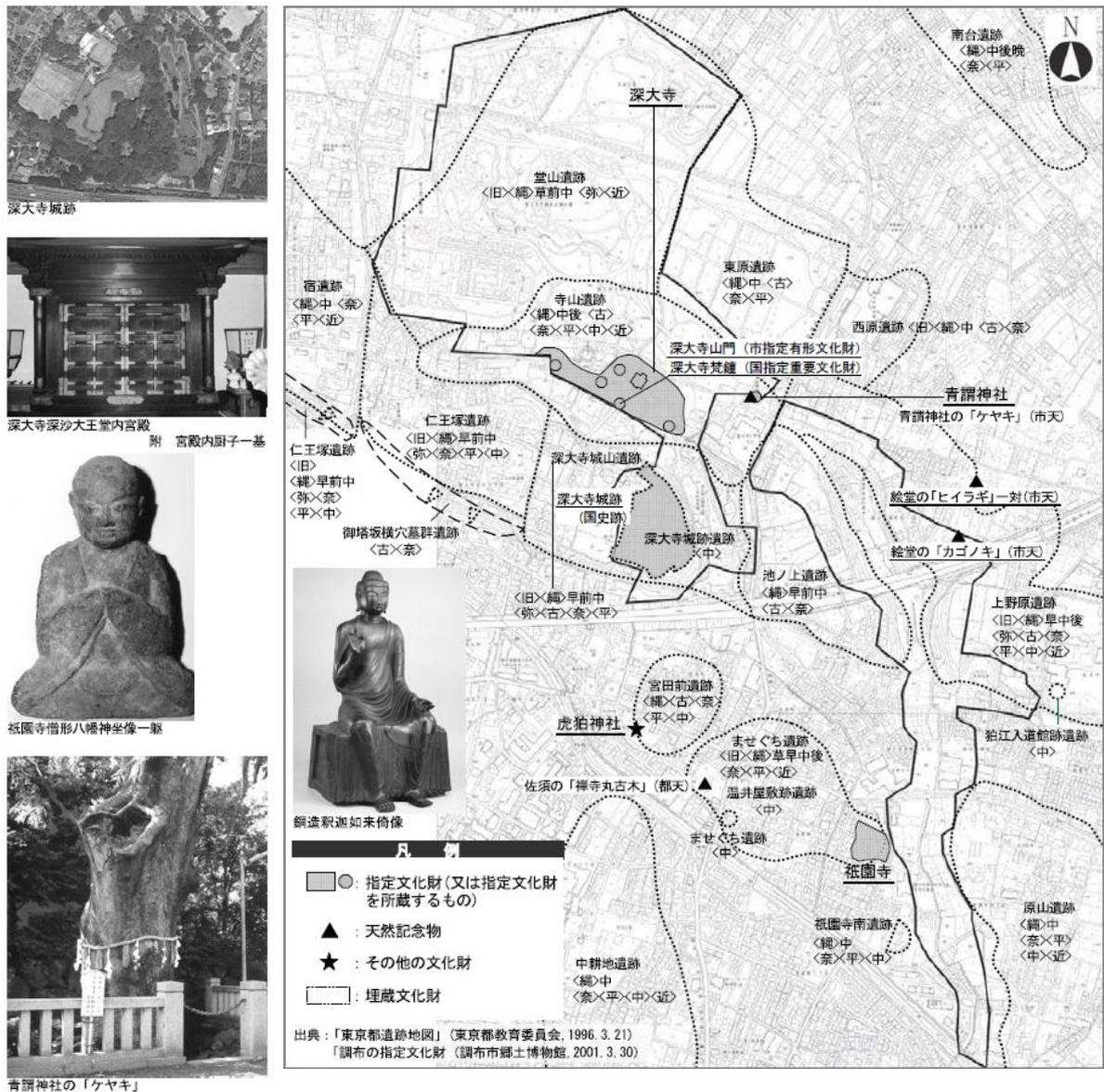
深大寺城跡

(イ) 指定文化財

深大寺は天平5年（733年）に満功上人が開創したとされており、名称は水神と関係のある深沙大王にちなむとされています。深大寺は中世には既に栄えており、その頃に制作されたとされる数々の文化財がそれを証しています。

深大寺に所蔵されている数々の文化財のうち代表的なものとしては、国指定重要文化財の「梵鐘」、「銅造釈迦如来倚像」があり、前者は南北朝時代、後者は白鳳時代（7世紀末）の作とみられています。また、市指定の有形文化財としては、「深大寺山門」が位置付けられているほか、市指定有形文化財の「深大寺深沙大王堂内宮殿 附 宮殿内厨子」は、水神にまつわるものとして貴重なものです。宮殿は寛文2～13年（1662～73年）頃の建造とされ、市内最古の建造物となっています。

水との関連が深い青渭神社や祇園寺には、それぞれ市指定天然記念物の「青渭神社のケヤキ」や市指定有形文化財の「祇園寺僧形八幡神坐像」があります。前者は樹齢約5～600年とされており、後者は鎌倉時代後期の作とみられています。



深大寺周辺の遺跡・文化財（出典：調布市深大寺地域環境資源調査報告書（平成19年3月，調布市））

## オ 地域資源

### (ア) 都立神代植物公園水生植物園

水生植物園は湧き水が集まって湿地帯となっています。昭和60年(1985年)に開園し、アシ・オギ・マコモ・アヤメなど多くの種類の水辺の植物が観察できるほか、園内の一部は国指定史跡・深大寺城跡となっています。



水生植物園

### (イ) 深大寺

深大寺は正式名称を天台宗別格本山浮岳山昌楽院深大寺といい、浮岳とは遥かに遠くを望み山が浮かんでいる様に見えるところから呼ばれ、遠来の際に目印にしたと考えられています。また、別格本山とは、天台宗本山比叡山延暦寺の下に、七つの門跡寺院(皇族が門跡となった上野の東叡山寛永寺、日光東照宮の輪王子等)に次ぐ寺格を持つ天台宗寺院のことをいいます。



深大寺

深大寺という名は水神の深沙大王に由来しており、奈良時代、天平5年(733年)に満功上人が開山したといわれています。深大寺に伝わる「縁起絵巻」によると、満功上人の父福満とある豪族の美しい娘が恋に落ちましたが、娘の両親の反対にあい二人は仲をさかれ、娘は湖の小島に隔離されてしまいました。そこで、福満は深沙大王に祈願したところ霊亀が現れ、彼を島へ連れて行きました。このことを知って娘の両親も二人の仲を許し、そして生まれたのが満功上人です。上人は父の深沙大王を祀ってほしいという願いによって出家し法相宗を学び、寺を建てました。それが、深大寺であると縁起は伝えています。そんな「深大寺縁起」のロマンチックな恋物語により、深大寺は縁結びの寺としても有名になっています。



弁財天池



参道の賑わい

開かれて後100年、武蔵国司蔵宗の乱がおこり、その降伏を祈念するため、朝廷の命をうけ、天台宗の高僧恵亮和尚が深大寺にその道場をさだめました。乱がおさまった後、朝廷は恵亮和尚の功をたたえ、深大寺を与えました。この時、深大寺は天台宗に改宗しました。

なお、深大寺は正保3年（1646年）と慶応元年（1865年）に火災に遭い堂宇の大半を失っており、現在の本堂は大正年間の再建となっています。

（参考：谷玄昭「住職がつづるとっておき深大寺物語」、  
宗教法人深大寺「深大寺」より）

#### (ウ) 深大寺そば

江戸時代、深大寺周辺の土地が米の生産に向かないため、小作人はそばをつくり、米の代わりにそば粉を寺に納め、寺ではそばを打って来客をもてなしたのが深大寺そばの始まりと伝えられています。

深大寺そばが有名になったのは、深大寺の総本山である上野寛永寺の門主第五世公弁法親王が深大寺そばを大変気に入り、まわりの人々をはじめ全国の諸大名にも深大寺そばのおいしさを言い広めたからと言われています。

そのため、深大寺そばの名が高まり、多くの家から深大寺へそばの使者が立つほどになったため、深大寺そばは「献上そば」とも言われています。

また、別の説では、徳川第三代将軍家光が、鷹狩りの際に深大寺に立ち寄って、そばを食べ、ほめたからだとも言われています。

（参考：調布市郷土博物館 テーマ展「深大寺そば」より）



深大寺そば

#### (エ) 調布市深大寺水車館

現在、水車館の敷地となっているところには、明治末期に地元の人びとが水車組合を作り、お金を出し合って建てた水車小屋がありました。市内で最後まで残っていた水車を復活させたいという地元の方々の運動により、平成4年に武蔵野台地のくらしと生業を紹介する展示回廊と水車小屋の建設が実現しました。



深大寺水車館

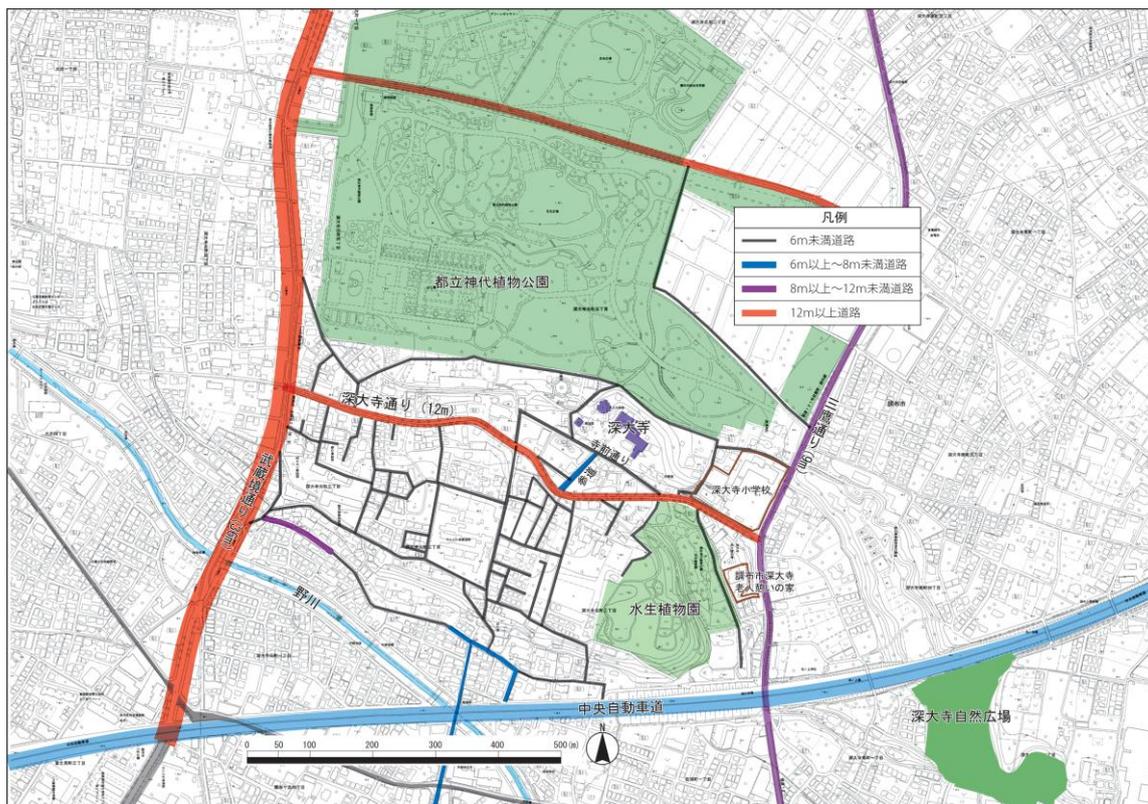
水車小屋には、つき臼3基とひき臼1基が設けられ、申込みを事前に行くと、実際に玄米を精米したり、そばの実を粉にひくことができるようになっています。

## カ 交通

### (ア) 道路現況

深大寺地区周辺では、武蔵境通り（調布3・2・6号線）が幅員36mで平成21年3月に拡幅整備が完了しており、道路空間と生活空間の距離を置くための環境施設帯を設けています。なお、当該路線は、平成22年度全国街路事業コンクール国土交通大臣賞を受賞しています。

また、深大寺通り（調布3・5・12号線）は、幅員12mで平成4年に拡幅整備が完了しています。観光地として歩行者が多いにもかかわらず、規制速度である30km/hを超えて走る車両や地区を通過するだけの車両が多く通過することで、交通環境が損なわれていると考えられていることから、平成22年度には、市と協議会の共催で、「深大寺通り交通社会実験」を実施しました（詳細はP33参照）。



深大寺周辺の道路現況図



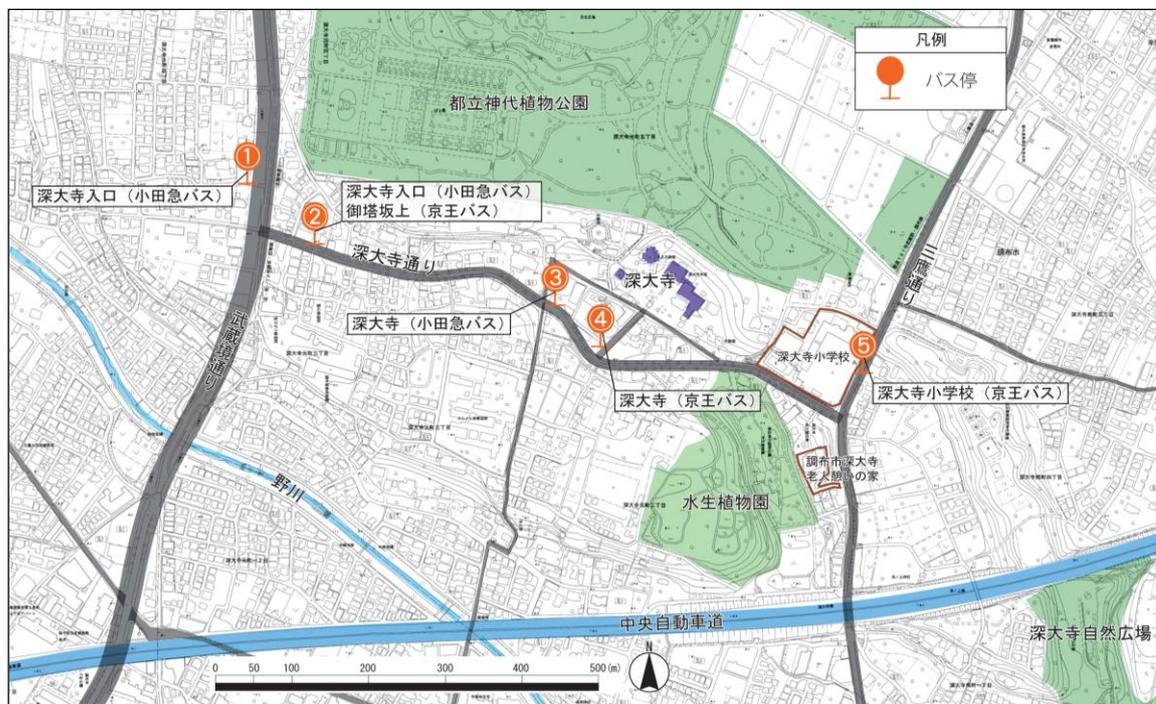
武蔵境通り



深大寺通り

(イ) 公共交通

深大寺への公共交通として、調布駅、つつじヶ丘駅、三鷹駅及び吉祥寺駅からのバス路線が整備されています。バス事業者には京王バス（調布駅・つつじヶ丘駅）、小田急バス（調布駅・三鷹駅・吉祥寺駅）の二つがありますが、バス停の箇所は異なります。



深大寺周辺バス停位置図

■深大寺周辺のバス路線（※平成24年6月時点）

始点	系統	降車停留所	終点	バス会社
調布駅始発	調34	深大寺小学校前	深大寺	京王バス
		深大寺（深大寺門）		
		御塔坂上		
	鷹56	深大寺入口	三鷹駅	小田急バス
吉05 吉06	吉祥寺駅			
つつじヶ丘駅始発	丘21	深大寺（深大寺門）	深大寺	京王バス
		御塔坂上		
三鷹駅始発	鷹65	深大寺（深大寺門）	深大寺	小田急バス
	鷹56	深大寺入口	調布駅北口	
吉祥寺駅始発	吉04	深大寺入口	調布駅北口	小田急バス
		深大寺（深大寺門）	深大寺	
	吉06	深大寺入口	神代植物公園（正門）	
			調布駅北口	



深大寺バス停（京王バス）

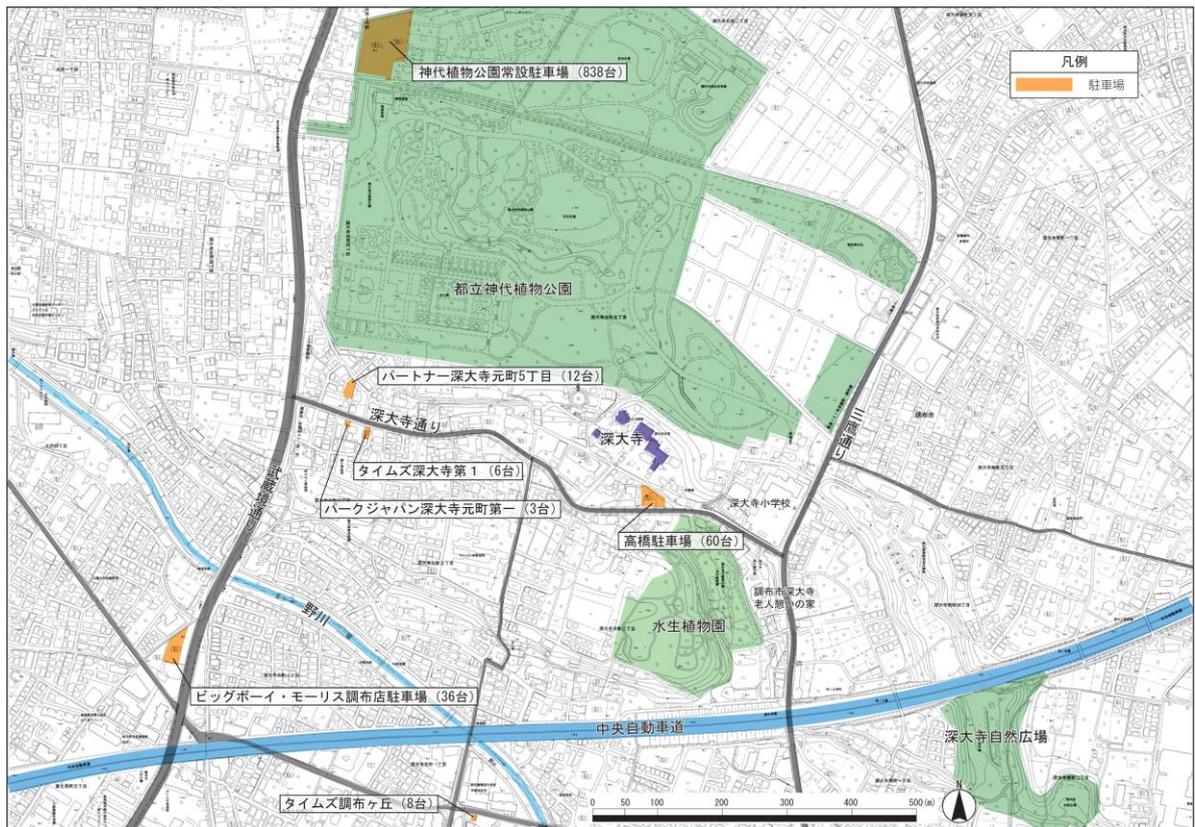


深大寺バス停（小田急バス）

(ウ) 駐車場

深大寺周辺で、来街者向けに時間貸しを行っている主な駐車場について、(財)東京都道路整備保全公社HP (s-p a r k) により、以下のとおり整理しました。深大寺から最も近い駐車場は「高橋駐車場」で、60台の駐車が可能となっています。他には「タイムズ深大寺第1」6台、「パークジャパン深大寺元町第一」3台、「ビックボーイ・モーリス調布店駐車場」36台があり、規模の大きなものには、「神代植物公園常設駐車場」838台があります。このほか、深大寺通り沿道のそば店には、併設の駐車場が用意されている箇所もあります。

なお、休日等には、神代植物公園の臨時駐車場も用意されています。



深大寺周辺駐車場位置図



深大寺周辺の駐車場 (高橋駐車場)



深大寺周辺の駐車場 (タイムズ深大寺第1)